

首都圏巨大地震、空母・放射能を考える 4・8 シンポジウム in 横須賀

入場無料



平田 直
東京大学教授

70%の巨大地震が話題となる。首都圏で推進される東大の地震予知研究。日本の地震予知研究の第一人者。首都圏の地震予知研究の第一人者。首都圏の地震予知研究の第一人者。



呉東 正彦
弁護士

「原子力空母の横須賀港問題を考える」共同代表。市民の金問題などとして活躍。金問題などとして活躍。金問題などとして活躍。



井上 哲士
参議院議員

日本共産党参議院議員。広島育ち。エネルギー依存から自然エネルギーへ転換を主張。参院原発問題を主眼調査団に参加。主眼調査団に参加。主眼調査団に参加。

日時：4月8日(日)
午後1時30分開会

場所：よこすか芸術劇場

保育(要事前予約)、要約筆記あります。



放射能汚染への広がる不安、首都圏巨大地震が4年間で70%という衝撃的発表。いったい原子力空母は？。

4月以降、原発がすべてストップすると日本で運転される原子炉は原子力空母と原子力潜水艦だけとなります。

どうすればいいのか、これからのエネルギー問題を含め、専門家のみならずと一緒に考えましょう。みなさんのご参加をお待ちしております。

こんな話が聞きたい!

それぞれの専門家の方々にお聞きになりたいことをご寄せ下さい。右の連絡先へ、電話、FAX、メール何でも結構です。

主催：日本共産党神奈川県委員会・同後援会
日本共産党三浦半島地区委員会

連絡・問合せ 046(851)1123 Fax046(852)2398
メールアドレス jcpmiura@atlas.plala.or.jp